

これまでに関心を持ってきた事柄について

笠原泰
高知工科大学工学部

1. A. Hatcher の教科書 Algebraic Topology の紹介. 全体としてこれまでの類書と同様の内容が, 現在における文脈の中で, これまでになく整理された形で提示されているに思われる. 特に, もっとも基本的な対象である CW 複体の, 「より使いやすい」定義の採用と, 古典的定義との同値性の紹介にこのことが端的に現れているように思われる. 特に幾何学的トポロジーを学ぶ人にこそ勧めたい.

2. 種数 2 の Jones 表現の摂動展開と, そこから得られる代数的性質について講演者のこれまでの仕事を紹介する. 特に摂動展開を介して, 写像類群全体のアーベル化と同型な Torelli 群の商が生じる不思議について語りたい.